

いつでも

血液で追加検査ができます

●ABC検診（胃がんリスク検診）

組合員3,300円

未組合員5,500円

胃がんのリスクとなる胃の萎縮の程度や、ピロリ菌感染の有無を測定し、危険度によってABCDEの5群に分けて判定します。

◆こんな方におすすめ！

胃がんは気になるけど、胃バリウム検査や胃カメラ検査を受けることに抵抗がある方

◆以下に該当する方は、ABC検診ではなく胃カメラによる経過観察をお受けください。

①食道、胃、十二指腸疾患で治療中の方 ②胃切除後の方

③腎不全の方 ④ピロリ菌除菌治療後の方

●アレルギー検査

各セット 組合員4,620円

未組合員5,170円

原因アレルゲンは簡単な血液検査で調べることができます。

アレルゲンを特定することは症状の早期改善に役立つだけでなく、治療する上でも重要です。

Aセット室内系 「ハウスダスト・ダニ・カビ・ネコ皮膚屑・イヌ皮膚屑」

Bセット春・花粉系 「スギ・ヒノキ・ハンノキ・ハルガヤ・マツ」

Cセット秋・花粉系 「ブタクサ・ヨモギ・イネ・カナムグラ・オオブタクサ」

Dセット食物系 「卵白・ミルク・小麦・大豆・ピーナッツ」

Eセット穀物系 「小麦・トウモロコシ・米・ゴマ・そば」

★「特定健診」「元気じゃ健診」受診者対象オプション

●特定健診+血液セット

2,200円

※組合員Bコース、ドックコースには含まれている項目があるためセット追加はできません。

肝機能 → ALP・コリンエステラーゼ・LD・総ビリルビン・A/G比・アルブミン・総蛋白

すい臓 → アミラーゼ

腎機能 → 尿素窒素

脂質 → 総コレステロール

●肝炎ウイルス検査

広島市では、肝炎ウイルス検査を受けたことがない方を対象に、無料でB型C型肝炎ウイルス検査を実施しています。

おすすめオプション検査一覧

●骨密度検診 2024年度よりDEXA法 新設

MD法 手の写真で計測	広島市在住で5歳区切りの年齢の方 (20歳, 25歳, 30歳, 35歳, 40歳, 45歳, 50歳, 55歳, 60歳, 65歳) ※男性は40歳から	1200円
	広島市在住で70歳以上の5歳区切りの年齢の方 (70歳, 75歳, 80歳, 85歳…)	無料
	広島医療生協組合員	1650円
	未組合員	2200円
DEXA法 腰椎と股関節で計測	広島医療生協組合員	4950円
	未組合員	5940円

DEXA法はより詳しい骨密度検診です

●脳ドック(MRI/MRA)

《料金》 組合員 20,460円 未組合員 26,400円

《検査方法》 頭部MRI (磁気共鳴画像撮影法)、 頭部MRA (磁気共鳴血管撮影法) にて

《検査時間》 30分程度

こんな方にオススメ

- ・ 40歳以上の方
- ・ 生活習慣病の指摘のある方
- ・ 血縁者に脳卒中になったひとがいる方

●血液検査で追加できる項目

①甲状腺機能検査 (TSH・FT4・FT3) 《料金 組合員5,170円 未組合員5,720円》

甲状腺の病気は女性に多く男性の6~10倍といわれています。

更年期やうつ病などのほかの疾患と間違えられることも多い病気です。

特にこんな方は一度受けてみましょう。

暑がり・寒がり、イライラ、疲れやすい、身体がだるい
物忘れ、動機、やせてくる、太りやすい、など

②ピロリ菌検査 《組合員 1,650円 未組合員 3,300円》

ピロリ菌感染により胃がんリスクが高くなるといわれています。

感染していた場合、除菌により胃がんの発生を抑制できます。

③ABC検診 (胃がんリスク検診) 《組合員 3,300円 未組合員5,500円》

ピロリ菌感染の有無とペプシノーゲン値の測定により、胃がんの危険度を

ABCDの4群に分けて判定します。分類にそってピロリ菌の除菌治療の必要性和推奨される胃カメラ検査の頻度が示されます。

腫瘍マーカー検査

血液検査です。いつでも追加できます！

●腫瘍マーカーセット ⇒ 組合員4,620円

男性セット
PSA
SCC
AFP

未組合員5,610円

女性セット
CA125
SCC
AFP

セットだと
330円お得♪

腫瘍マーカー

1項目 組合員1,650円

未組合員1,980円

	項目	特徴
がん全般	CEA	大腸がんなどの消化器のがんをはじめ、肺、卵巣、乳がんなどで高値になります。 *喫煙や炎症性疾患、肝硬変、糖尿病で高値なることもあります。
卵巣がん	CA125	主に卵巣がんで高値になります。 *その他、子宮体がんや膵臓、胃、大腸などでも高値になることがあります。 *子宮内膜症、月経、妊婦、肝硬変、膵炎などの良性の疾患でも上昇します。
前立腺がん	PSA	前立腺がんで高値になります。 *その他、前立腺肥大症、前立腺炎でも上昇する時があります。
消化器がん	CA19-9	膵臓がんをはじめ、胆道、胃、大腸がんなど、主に消化器のがんで高値になります。
肝臓がん	AFP	肝臓に特異的なマーカーで原発性肝細胞がんで高値になります。 *肝硬変、肝炎などの肝臓の良性の疾患でも高値になります。 *その他、妊婦、その他のがんでも高値を示すことがあります。
	PIVKA-II	肝臓に特異的なマーカーでAFPと併用して測定することで肝がんの発見において効果が上がります。
肺がん	CYFRA	主に肺の扁平上皮がんで高値になります。
	proGRP	主に肺の小細胞がんで高値になります。
	SCC	主に肺がんで高値になります。 *その他では食道、子宮頸部の扁平上皮がんで高値になります。 *皮膚の病気でも高値になることもあります。
	SLX	主に肺がんで高値になります。偽陽性が少ないとされています。